

青森県高総文祭きょう開幕

八戸主会場

「全力出す」「感動を」
完全開催 生徒意気込み

青森県内の高校生による芸術・文化の祭典「第44回青森県高校総合文化祭」が6日、八戸市を主会場に開幕する。新型コロナウイルス禍で制限を受けた吹奏楽や弁論などの部門で一般公開が復活し、初日に総開会式やパレードが4年ぶりに実施されるなど、完全開催となる見通し。参加する生徒は高校生の文化活動を多くの人に見てもらおうと張り切っており、「全力を出し切る」「感動を与えたい」と意気込んでいる。（取材班）



パレードに向けて練習に熱を入れる八戸学院光星高の吹奏楽部。3日、同校

過去3年間は感染拡大防止のため、総開会式やパレードが中止となり、多くの部門で一般公開の取りやめなどを余儀なくされた。新型コロナウイルスが落ち着いた今年、ほぼ平常通りに戻り、延べ4千人の高校生が参加。「開こう、明日への扉 築こう、未来のカタチ」を大会テーマに今月末まで、演劇や合唱、囲碁、将棋、放送、国際理解、青少年赤十字など全19部門を行う予定だ。

パレード復活、練習に熱

総開会式	6日	八戸市公会堂
記念パレード	6日	八戸市中心街
マーチングバンド・パトントワリング部門	6日	八戸市公会堂
吹奏楽部門	6、7日	八戸市公会堂
美術部門	6～8日	八戸市美術館
囲碁部門	7日	ユートリー
合唱部門	8日	八戸市公会堂
書道部門	13～15日	八戸市美術館
文芸部門	13、14日	八戸ポータルミュージアムはっち
写真部門	13～15日	八戸市水産会館
弁論部門	14日	青森県立八戸北高
演劇部門	14、15日	弘前市民会館
自然科学部門	21、22日	青森県立八戸東高 ※22日は一般公開なし
国際理解部門	21日	八戸聖ウルスラ学院高
郷土芸能部門		
日本音楽部門	22日	青森明の星中・高
器楽・管弦楽部門		
将棋部門	21、22日	おいらせ町みなくる館
放送部門	28、29日	八戸市公民館
小倉百人一首かるた部門	28日	八戸市福祉公民館
青少年赤十字部門	28日	青森県立八戸西高

第44回青森県高校総合文化祭 日程

県立八戸東高書道部の2年生14人は、総開会式第2部（交歓会）で、大会テーマを書道パフォーマンスで表現する。8月下旬から構想を繰り返し始め、部員同士

の行進を練習した。上半身がぶれないように足並みをそろえるのが難しかったが、一同が完成度を高めた。吉田さんは「不安もあるけど楽しみ。市民に高校生の活動を知ってもらう機会にしたい」と笑顔を見せた。

2年で部長の土佐美陽さんは「（開会式が）どういう感じになるか想像がつかないが、代表して書道パフォーマンスができることは誇らしい」と張り切る。

大会ホスターは、市美術館やウミネコが乗ったマチニワなど主会場・八戸が満載で、筆洗や将棋盤、カメラといった各部門をイメージした建物や、パレードや舞台発表でにぎわう様子も表現されて印象的だ。

デザインした八戸工大二

高2年の小笠原葵さんは「文化祭の明るく楽しい感じにしよう」との思いで街なかを描いたという。「コロナの制限が緩和され、できなかつたことがきなかつたことになった。参加者には今回のために頑張ってきた努力を楽しんで発揮してほしい」と声を弾ませた。